

平成 15 年（2003 年）2 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（3 日目）

平成 15 年 3 月 5 日（水）

1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	仲本 嘉公 (市民・社社 ネット)	1 市長の施政 方針について 2 市長の市政 運営について	(1) 那覇市は、緊急かつ新たに対応すべき行政課題が山積しているとあり、また、従来の枠にとらわれない戦略的な施策の展開を推し進めると、市長は決意しているが、その山積している問題とは何なのか。また、枠にとらわれない戦略的な展開とは何を指しているのか、それらの解決の実行性・めどを伺う (2) これまで解決できなかった那覇市の重要課題に取り組み、大きく前進することができたとあるが、その重要課題の項目といかに多くの前進した事業があったのか、伺う (1) 平成 10 年 4 月策定された那覇市の第 3 次総合計画（10 力年）の基本理念をうけて、7 つの都市像が確立され、その実現に向けて、いま事業が展開されていると本員は考えるが、翁長市長の、この都市像に対する施策の対応は、これまでとこれからもどのように違ってくるのか、市長独自の施策の特色にどう生かされているのか、伺う (2) 那覇市の重要政策マネジメントや那覇市経営改革アクションプラン、それと企画機能とマネジメント機能を一体的とする「経営企画部」、さらに「なは未来室」と「行政の改革～変身・玉手箱なは」等々があるが、市民が、わかりやすく総合的に理解できるものとするならば何なのか、伺う

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>3 補助金事業について</p> <p>4 戦後復興事業の国道58号及び接収学校用地校の国への補償について</p> <p>5 都市計画・中心市街地活性化事業について</p> <p>6 健康づくり「なは都市」について</p>	<p>平成14年度那覇市の補助金より平成15年度の補助金予算案では、3億2,300万円余も増額となっている。市の多くの事業を遅らす結果になりかねない。本年度の増加の主なものとその費用対効果を市民にどう反映していくのか、伺う</p> <p>那覇市の永遠のテーマである最重要課題として戦後復興事業(国道58号に係る市有地の補償)や戦後所有者不明の状態での学校用地の接収での特別措置を国へ要請する件。これまでの取り組みと経過を市民に明らかに示していただきたい。その結果を伺う</p> <p>那覇市は、古来より商都として発展してきた。また、これからも県内最大の商都として県内をリードして行かなければならないが、最も重要である我が那覇市の中心市街地活性化事業の進捗状況が大変遅いように思われる。同時に都市再生整備事業の予算が大幅にカットされているが、自立型経済を目指す那覇市にあって、中心市街地の施策の展開や進捗度合い、その事業の達成度を伺う</p> <p>平成6年「健康づくり宣言」なは都市となっているが、市民が病気にかからない一次予防という予防医学を中心とする新たな施策の展開を前面に打ち出し、福祉・教育・環境とともに事業を推進展開することについて、伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、助役、政策調整監、教育長、関係部長</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		3 公園行政について	<p>(3) ヤミ金融・サラ金被害が学校に及ぼしている影響について</p> <p>北海道で、金融業者を名乗る男から「児童の親に金を貸した。子供に会わせろ」などの脅迫する内容の電話があり、学校は、子供たちの安全の立場から、授業を中断し集団下校させる事件が起きている</p> <p>本市においても、このような事例があるのか。どのように対処するのか</p> <p>未吉公園のチンブク林(竹林)の復元について</p> <p>かつて公園敷地内に広くあった首里末吉町のチンブク林は、県内でも有名で、末吉町の財産であり、誇りであった。公園設置に協力したにもかかわらず、そのチンブク林がなくなり、住民はさびしい思いをしている</p> <p>ぜひ復元をとの思いに応えるべきである。見解を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		3 住宅行政について	<p>高齢者や障害のある方の市営住宅の住み替えについて伺う</p> <p>(1) 住み替え希望者の申請状況はどうなっているか</p> <p>(2) 火災や台風及び地震等の停電の際を考慮し、エレベーターのある市営住宅でも、住み替えを認めるべきだと思うが当局の見解を伺う</p>
		4 ホームページの充実について	<p>アクセス回数 40 万件を超えた本市のホームページは、内容がますます充実してきていることから、以下の提案について当局の見解を伺う</p> <p>(1) 携帯電話用の市ホームページを開設できないか</p> <p>(2) 児童生徒向けのメニューを設置できないか</p>
		5 交通安全対策について	<p>一銀通りの交通安全対策について</p> <p>(1) 久茂地橋の改修工事後に発生した交通事故の件数と原因について伺う</p> <p>(2) 同橋の直進と右折の標識をもっと明確にできないか</p> <p>(3) 同橋の歩行者用信号機の時間延長を図れないか</p> <p>(4) 安木屋前から久茂地小学校側への横断歩道の設置について、当局の見解を伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長</p>

個人質問（3日目） 平成 15 年 3 月 5 日(水)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	高里 鈴代 (市民・社社 ネット)	<p>1 セクシャル・ハラスメント防止策について</p> <p>2 自然環境の保全及び緑化推進について</p>	<p>那覇市のセクシャル・ハラスメント防止規定と実態について</p> <p>(1) マニュアルが策定され、各部に相談員の選任と訴えが生じた場合の処理委員会を設置しているが、市の対応についてどのように策定されているのか、研修、相談員の選任のあり方、相談しやすい環境整備はどうなっているのか伺う</p> <p>(2) セクハラの対象の規定はどうなっているのか伺う</p> <p>(3) 市の相談の実態について</p> <p>(4) 新年度の委託事業、受注事業所におけるセクハラ防止策の啓発・指導について</p> <p>(5) 新聞報道では、市長は助役に調査を依頼したとあるが、その結果について、また、市長の認識について伺う</p> <p>(6) 多額の補助金を出し、また、委託を受けている事業者においても、指導・監督するべきではないか。今後の取り組みを聞く</p> <p>(1) 公園整備計画は鳥獣生息地の保護を十分に配慮して行われているか</p> <p>新都心総合公園については、平成 14 年度に実施計画が完了し、工事は 17 年度着工となっている。新都心地区に公共施設をはじめ、住宅環境もだんだん整備されてくる中で、公園予定地である場所の自然環境の保全は急務である</p> <p>湿地帯区域の生態系調査の実施、その方法、調査の成果はどう実施計画に反映されるか、伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>末吉公園の整備は、身近な鳥獣生息地の保護区であることをどのように配慮して行われているか、伺う</p> <p>(2) 屋上緑化事業及び緑化推進と水資源有効利用との関連はどうなっているか、伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、教育長、水道事業管理者、関係部長</p>

個人質問（3日目） 平成15年3月5日(水)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	高里良樹 (自民クラブ)	<p>1 経済行政について</p> <p>2 都市計画行政について</p>	<p>沖縄の新しい企業立地促進制度について</p> <p>(1) 観光振興地域制度の意義について</p> <p>(2) 国際通りを観光振興地域に指定をさせていく考えはないか</p> <p>(3) 観光振興地域の指定に基づき、特定免税店を設置する考えはないか</p> <p>(4) 国際通りの観光関連施設について当局はどのように考えているか（空き店舗の活用等）</p> <p>県道29号線、山川交差点～鳥堀交差点までの道路拡張工事と景観地域指定について</p> <p>(1) 山川交差点～鳥堀交差点までの区間からモノレールの儀保駅までのアクセスが十分ではないと考えるが、当局はどのように考えているか</p> <p>(2) 景観形成地域指定に対して、赤がわら設置の助成金を増額する考えはないか</p> <p>【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長</p>

個人質問（3日目） 平成15年3月5日(水)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	喜舎場 盛三 (公明党)	<p>1 中小企業対策について</p> <p>2 まちづくり政策について</p> <p>3 雇用政策について</p> <p>4 福祉政策について</p>	<p>(1) 本市における中小企業対策を伺う</p> <p>(2) 中小企業が金融機関から受ける融資に対し、信用保証協会が保証を付ける「信用保証制度」があるが、その中の特別保証は、本市においてはどのくらい利用されたか伺う</p> <p>(3) 中小企業が既に利用している保証付き融資の借り換えを促し、毎月の返済負担を軽減する「資金繰り円滑化借換保証制度」がスタートしているが、より多くの中小企業経営者の方に利用していただけるよう、PR等を行ってみたいが、見解を伺う</p> <p>(1) 商店街空き店舗の解消のために「コミュニティ施設活用商店街活性化事業」があるが、本市におけるその利用実績を伺う</p> <p>(2) 牧志公設市場を中心とする中心市街地で公衆トイレの増設を望む声が多いが、新たな建設計画はないか伺う</p> <p>「緊急地域雇用創出特別交付金」の活用により一定の雇用効果が上がっているようであるが、事業の委託先で被雇用者の労働条件の実態をチェックしたことがあるのか伺う</p> <p>(1) 高齢者ができるだけ介護を要する状態にならないための介護予防や、市民の総合的な健康づくりのため、本市ではどのような取り組みがあるか伺う</p> <p>(2) 「なは高齢者プラン」の中に、「民間を活用して高齢者向け有料賃貸住宅や生活支援ハウスを整備していく」とあるが、どのように取り組んでいくのか伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>5 文化政策について</p> <p>6 教育行政について</p> <p>7 道路行政について</p>	<p>(3) 100%国の補助で介護予防拠点の整備等を支援する制度があり、国の平成 14 年度補正予算でも 150 億円がついている。今まで本市においてはその制度をどのように活用してきたか伺う</p> <p>(1) 文化庁の文化芸術創造プランの芸術拠点事業を利用し、沖縄市では 1,400 万円の補助を受けて平成 14 年度はいくつかの事業を展開し、平成 15 年度も多数の文化事業を用意しているようである。本市において文化芸術創造プランの事業を利用する計画はないか伺う</p> <p>(2) 文化芸術創造プランの中に「子供の文化芸術体験活動の推進事業」が多数計画されているが、それを本市の子供たちのために活用できないか伺う</p> <p>最近、子供たちも含めた沖縄県民の健康問題がクローズアップされているが、本市の児童・生徒の食教育について特に力を入れて取り組んでいる学校があればその実践例を伺う</p> <p>寄宮 2 丁目の市道の一部で側溝が整備されていないため、道路から 3 m 低い住宅地に、道路の雨水が流れ込み、また、道の端が住宅地に崩れ落ちる恐れがある 調査と対策を要望したが、その後の進捗状況を伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長</p>

個人質問（3日目） 平成 15 年 3 月 5 日(水)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	国吉真徳 (市民・社社 ネット)	<p>1 那覇軍港について</p> <p>2 保育行政について</p>	<p>県民の生命財産を守る立場から、また、港湾施設で働く人々の安全確保の面からも、米軍との軍港使用協定を締結することは重要かつ不可欠だと考える 市長の見解を伺う</p> <p>(1) 少子高齢化時代といわれる今日、乳幼児の出生率は減少する中、保育所の待機児童は増加傾向にある その根本的な要因は何なのか</p> <p>(2) 厚生労働省は、「新エンゼルプラン」「待機児童ゼロ作戦」「少子化対策プラスワン」「次世代育成支援対策推進法（仮称）」等子育て機能の再生を図るため、次々と施策を打ち出し自治体においては保育所の増設、その他の施策を講じて待機児童の解消を図っているが、今なお成果が得られない。待機児童問題がいつ解消され、また、解消後は新たに定員割れの問題が生ずると考えるが、今後の保育所運営のあり方について当局はどのように考えているか</p> <p>(3) 国の福祉政策、とりわけ度重なる児童福祉法の改正により保育所現場を混乱に陥れている。いまや、21世紀を担う乳幼児の保育が崩壊の危険さえ感ずる。長年にわたり公立及び法人保育園が児童福祉法を遵守しながら保育に努めてきた役割は大きいと考える。児童福祉、とりわけ保育行政はどうあるべきか、根本問題について当局はどのように考えているか伺う</p> <p>(4) 沖縄県は認可外保育園の問題で、沖縄の歴史的経緯を考えた場合と言われるが、私も基本的には認識はしている。しかしながら、保育所の本来の姿はどうあるべきか、児童福祉法に基づく保育所運営に重点を置いた行政指導を図る必要があると考えるが、沖縄県は例外と考えるのか伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(5) 認可外保育園問題で沖縄県の歴史的経緯を考えるならば、沖縄の戦後処理、復帰処理の一環としての「特別措置法」等、国へ解決策を要請したらどうか</p> <p>(6) 本市の財政は、今なお厳しい状況である。したがって、市民が反対する中、行政当局はそれを押し切って公立保育所及び学校給食の民間委託を推進しようとしている。また、待機児童対策も財政難を理由に大きく遅れている。一方では、認可外保育園への助成を大幅に広げている。国ははっきり認可外へは、助成しないと断言している 助成のあり方及び認可外保育園問題の解決策をどのように考えているか伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長</p>

個人質問（3日目） 平成15年3月5日(水)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	中村 昌樹 (市民・社社 ネット)	1 福祉行政について	<p>介護保険料の値上げ、多面、長寿の危機が代表質問において取り上げられた。当局の答弁を聞く限りにおいては、後手の感じがしてならない。よって、以下の点について改めてお尋ねする</p> <p>(1) 本市の老人医療費は年間いくらか</p> <p>(2) 参考までに国民健康保険の医療費はいくらか</p> <p>(3) 過去5年間の推移は各々どのような傾向にあるか</p> <p>(4) 老人医療費の対象人口は何人が</p> <p>(5) その内、何人の老人が医療費を活用しているのか。比率はどのくらいか</p> <p>(6) また、国民健康保険医療費の対象人口は何人が</p> <p>(7) 介護保険の第1号加入者は何人が</p> <p>(8) 第1号被保険者の介護認定者は何人が</p> <p>(9) 介護認定者が利用したサービスに支払った金額はいくらか</p> <p>(10) 措置時代の施設待機老人は何人いたのか</p> <p>(11) その方々は現在、どのような状況にあるのか</p> <p>(12) 民間の有料老人マンションに法制度の規制があるか。それに対し那覇市の見解や施策はあるか</p> <p>(13) 健康医療情報システム導入の考えはないか</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>2 教育行政について</p> <p>3 農業行政について</p>	<p>特色ある学校づくり事業が昨年度からスタートしている。保護者や地域・学校現場から評価が高いが、昨年の特徴と今後の取り組みの方向性について説明を求める</p> <p>4月からのペットボトルの資源収集開始により、いよいよごみの4割をしめる生ごみの分別収集及び資源化が、大きな課題になった感がする。まさに清掃事業と農業事業のゼロエミ化といえる。言い換えれば、有機農産物流システムの構築が求められる。いま、本市のゼロエミ事業としてホテルを軸とした事業が計画されているが、私は別の考えを持つ</p> <p>まず、行政の内部におけるモデル事業に取り組み、民間にその成果を活用することが重要だと考える</p> <p>つまり、学校給食の生ごみを農地に堆肥として還元し、そこで生産された有機作物を学校給食の食材として購入する。いわゆる契約栽培が必要だと考える。今回は、時間が無いので、入り口の議論をしたい</p> <p>その前提として、有機農業に従事する農家が市内及び近郊にどれだけいるか、その生産物を販売している店舗がどれくらいあるかの調査が必要だと思う。そこで、お尋ねする</p> <p>(1) 有機農産物流調査をする考えはないか</p> <p>(2) スローフード都市アピールをする考えはないか</p> <p>ご承知のようにスローフード運動は、地域の食文化を後世に伝えていこうと1986年イタリアで始まった。その内容は、伝統的な食材や料理、産地の保存継承、食を通じた教育「食育」が中心となる。長寿の危機問題はまさにここからスタートすべきだと考えるがどうか</p> <p>専門の立場から病院長・教育長の見解も併せて伺いたい</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(3) 真和志農協生産部会が、平成14年3月から毎週土・日にハルサー市を行っているが、行政として事実を確認しているか また、どのような支援をおこなってきたのか、今後どのような支援を考えるべきか、見解を伺う</p> <p>(4) 次年度の農業関連予算と主な事業は何か説明を求める</p> <p>(5) 農業後継者の問題について伺う 2001年3月施行の改正農地法により、自治体出資の農業生産法人が認められている また、コンポスト等の拡張業務も可能となっている。那覇市周辺の休耕地を活用し、本市が出資する農業法人を設立する考えはないか伺う</p> <p>(6) (2)(3)(5)に関し、市長はどのような感想を持ち、政策的な支援を検討されるのか見解を問う ちなみにハルサー市の会場には『百姓商法とスーパー商法の最大のちがいは、消費者を「仲間」と考えるか、それとも「お客」と考えるか』のメッセージがあった そこには、生産農家の生き残りを模索する強い決意と、那覇市の農業政策の脆弱さを垣間見させられた気がした。市長の前向きな答弁を期待したい</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、病院長、関係部長</p>